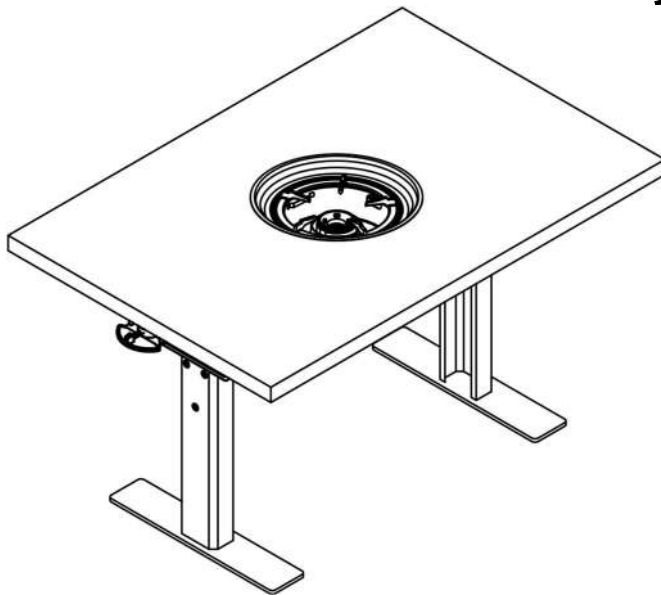


ガス客席埋込コンロ

製品番号 CTK-23S



このたびは シルクルーム 業務用ガス客席埋込コンロを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに保管してください。

- 本機器は業務用として作られています。一般家庭用には使用しないでください。
- 使用者が代わった場合には、必ずこの取扱説明書を読んでいただき、かつ指導してください。
- 本機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店または当社までお問い合わせください。
- この取扱説明書の17ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

もくじ

■ 安全上のご注意

安全上のご注意・・・・・・・・・・1~6

■ 各部の名称と仕様

各部の名称・・・・・・・・・・7

仕様・・・・・・・・・・8

■ 設置について

設置前の準備・・・・・・・・・・9

機器の組付方法・・・・・・・・・・9~10

■ ご使用方法

ご使用前の準備・・・・・・・・・・10~11

操作の方法・・・・・・・・・・11

ご使用上の注意・・・・・・・・・・12

■ 日常点検・お手入れ

日常点検・お手入れ・・・・・・・・・・13~14

■ 困ったときは

故障・異常の見分け方と処置方法・・・・・・・・15

長期間使用しない場合・・・・・・・・15

廃棄するときは・・・・・・・・15




■ アフターサービスについて

アフターサービスについて・・・・・・・・16








■ 保証書




■ 安全上のご注意(必ずお守りください)

- お使いのになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|--|
|  危険 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
|  警告 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

- 絵表示には次のような意味があります。

| | |
|---|--|
|  | この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。  火気禁止  分解禁止  接触禁止 |
|  | この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。 |
|  | この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容です。  換気必要 |

| | |
|---|--|
|  危険 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
|  火気禁止 | <p>ガス漏れに気づいたら</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 絶対に火をつけない ■ 電気器具(換気扇など)のスイッチの「入 / 切」をしない ■ 電気プラグの抜き差しをしない ■ 周辺で電話を使用しない <p>炎や花火で引火し、爆発事故を起こすことがあります。</p> |
|  | <p>■ すぐに使用を中止する</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 器具栓つまみを戻して、火を消す。 ② ガス栓を閉める ③ 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。 ④ 外に出て、最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡する。 |

■ 安全上のご注意(設置編)



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



分解禁止

修理・改造・分解禁止

■お客様ご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造は行わない

- 一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。

■機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)以外のガスでは使用しない

- 表示のガス種が一致していない場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する原因になりますので、使用しないでください。
- 転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。
- 銘板は機器本体後面に貼ってあります。供給ガスの種類がわからない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者にお問い合わせください。

例：都市ガス12A、13Aの場合

| |
|-----------------------|
| 品番：CTK-23S |
| 形式名：CTK-23S |
| 都市ガス12A、13A用 |
| ガス消費量 12A 3.30kW |
| 13A 3.60kW |
| 00.00-000000 |
| 山田金属工業株式会社 |
| 業務用 |
| 使用可能な最大パイプ径 直径30cm |



周囲の防火措置

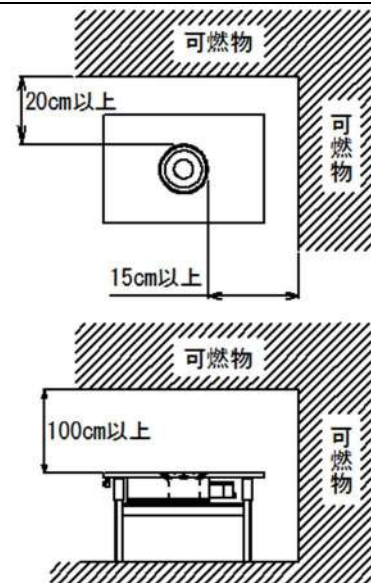
■可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。

距離が近いと火災の原因になります。

■設置後機器の周辺を改装する場合も、可燃物との距離を確実に離す

機器上方周囲の壁などが木材のような可燃物の場合



■ 安全上のご注意(設置編)



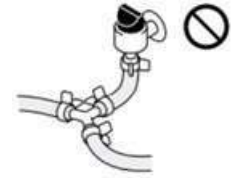
警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

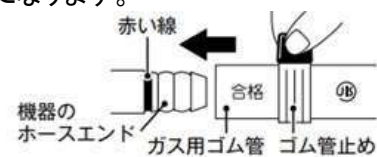


ガス用ゴム管(ソフトコード)は

- 継ぎ足しおよび二又分岐はしない
ガス漏れの原因になります。
- ひび割れたり、古くなったガス用ゴム管は使用しない
ガス漏れの原因になります。ときどき点検して古くなった場合は、取り替えてください。
- 高温部に触れたり、折れたり、ねじれた状態で使用しない
できるだけ短くして使用してください。
- 機器の下を通したり、炎に近づけない
- 他の機器で加熱されるような所に通さない
使用時は周囲が高温になり、ガス用ゴム管が溶け、ガス漏れの原因になります。



- 検査合格または JIS マークの入っているものを使用する
ガス用ゴム管以外は耐久性に欠け、ガス漏れの原因になります。ビニール管は絶対に使用しないでください。
- ホースエンドの赤い線まで差し込んで、ゴム管止めでしっかり止める
しっかり止めないと、ガス漏れの原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

設置場所



- 棚の下など落下物の危険のある場所に設置しない
機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。
- 強い風の吹き込む場所に設置しない
点火不良や途中消火・機器内部の損傷の原因になります。
- 給湯器の下に設置しない
給湯器の不完全燃焼防止装置がはたらき、火がつかない場合があります。また、給湯器の寿命を縮めます。
- 照明器具などの樹脂製品の下に設置しない
照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。
- 車両・船舶には設置しない
使用中に機器が傾いたり、火災・やけどのおそれがあります。



- 水平で安定性の良い丈夫な台の上に設置する
不安定な所や傾いた所に設置すると、機器が傾いて、やけどやけがのおそれがあります。

■ 安全上のご注意(使用編)



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



近くに置いてはいけないもの

■ 爆発のおそれがあるもの

熱で缶内の圧力が上がり、爆発のおそれがあります。

- スプレー缶
- カセットコンロ用ボンベなど

■ 燃えやすいもの

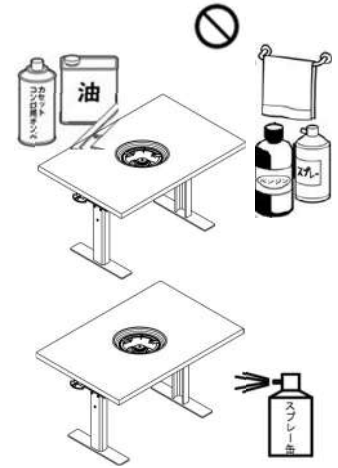
火災の原因になります。

- 機器の上方の調味料ラックなど
- ペットボトル・プラスチック類
- ふきんやタオル・調味油など

■ 引火しやすいもの

火災の原因になります。

- スプレー・ガソリン・ベンジンなど



使用中は

■ 機器から離れない

■ 就寝・外出をしない

- 調理中のものが異常加熱し、火災の原因になります。
- 電話や来客の場合は、必ず火を消してください。



■ 汁受け／水槽が空だきにならないよう、水量に注意

(※別売品焼きアミ、ロストル使用時)

溜まった油に引火し、火災の原因になります。



使用してはいけないもの

■ 機器をおおってしまうような鉄板、なべ、陶板などの調理具

■ 専用の補助具以外

一酸化炭素中毒や異常過熱による機器損傷や火災のおそれがあります。



■ 使用中は、身体や衣服が炎に近づかないように注意する

衣服に炎が移ってやけどのおそれがあります。



使用時や使用後は

■ 点火・消火の確認をする

使用中もときどき正常に燃烧していること確認してください。

■ ガス栓を閉める点火・消火の確認をする

使用後は操作つまみが「OFF」の位置方向で「カチッ」と音がするまで戻し、消火していることを確認し必ずガス栓を閉じてください。

異常時は

■ 操作つまみを「OFF」にして、火を消し、ガス栓を閉める

- 地震・火災・異常な燃焼・臭気・異常音を感じたときは、すぐに使用を中止してお買い上げの販売店に点検をお申し付けください。
- 故障または破損したと思われる場合は、使用しないでください。万一機器の具合が悪くなった場合は、「故障・異常の見分け方と処置方法」をご確認ください。⇒15ページ



■ 安全上のご注意(使用編)



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。



■ 操作部には強い力を加えない

強く手で押さえると、けがや機器損傷・誤作動の原因になります。

■ 本体・操作部には水や洗剤を直接かけない

酸性・アルカリ性の洗剤は、ガス通路部品が腐食し、ガス漏れや器具栓などの機能部品の誤作動や損傷の原因になります。



接触禁止

■ 使用中・使用直後は操作つまみ以外に触らない

やけどのおそれがあります。

触らないよう注意してください。

※特に、調理面は使用後もしばらく高温状態がつづきますので取り扱いにご注意ください。



■ 点火するときや使用中は、焼面とその周辺に顔を近づけない

やけどのおそれがあります。



■ 揚げもの調理には使用しない

調理油が過熱して火災になることがあります。



■ 水のかかる所や他の熱源(調理器・焼物器など)の近くでは使用しない

故障の原因になります。



使用中は

■ 調理以外に使用しない

衣類の乾燥や練炭の火起しなどをすると、火災や機器損傷の原因になります。

■ 機器に風を当てない

扇風機やエアコンなどの風が当たると点火不良や途中消火、機器内部の焼損の原因になります。



換気必要

■ 換気扇を回すか、窓を開ける

換気をしないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



■ 点火しない場合は、操作つまみを「OFF」にして、消火の状態にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する

すぐに点火操作をすると周囲のガスに引火して、衣服に燃え移ったり、やけどのおそれがあります。

■ 安全上のご注意(使用編)



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。



- 乳幼児や子供に触らせないように注意する
やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。



- 汁受け／水槽、ゴトクは、正しく確実に取り付ける
バーナに着火しない、点火用パイロットバーナの炎が本体などを加熱し火災や機器焼損の原因になります。
汁受け／水槽の穴を飾り枠のねじ頭に合わせて取り付けてください。



- なべをお使いになるときは、30cm以下の物をご使用ください。
- この製品は業務用です。家庭用には使用しないでください。



機器の点検・お手入れ・まわりのお掃除の際は

- 機器を水につけたり、機器に水をかけたりしない
不完全燃焼・故障の原因になります。
- 日常の点検・お手入れを実施して、火災予防上支障のない状態に維持管理をする（火災予防条例で求められています）
機器内部に油汚れなどが蓄積すると、火災の原因になります。
また、炎口が詰まると、未着火や立消えの原因になり、ガス漏れの危険が増します。
- 機器が冷めていることを確認する
使用後は高温のため、触れると、やけどのおそれがあります。
- ガス栓を閉める
誤って点火した場合、やけどのおそれがあります。
- 必ず、手袋をする
手袋をしないと、けがのおそれがあります。
- バーナが汚れたときは、必ずお手入れする

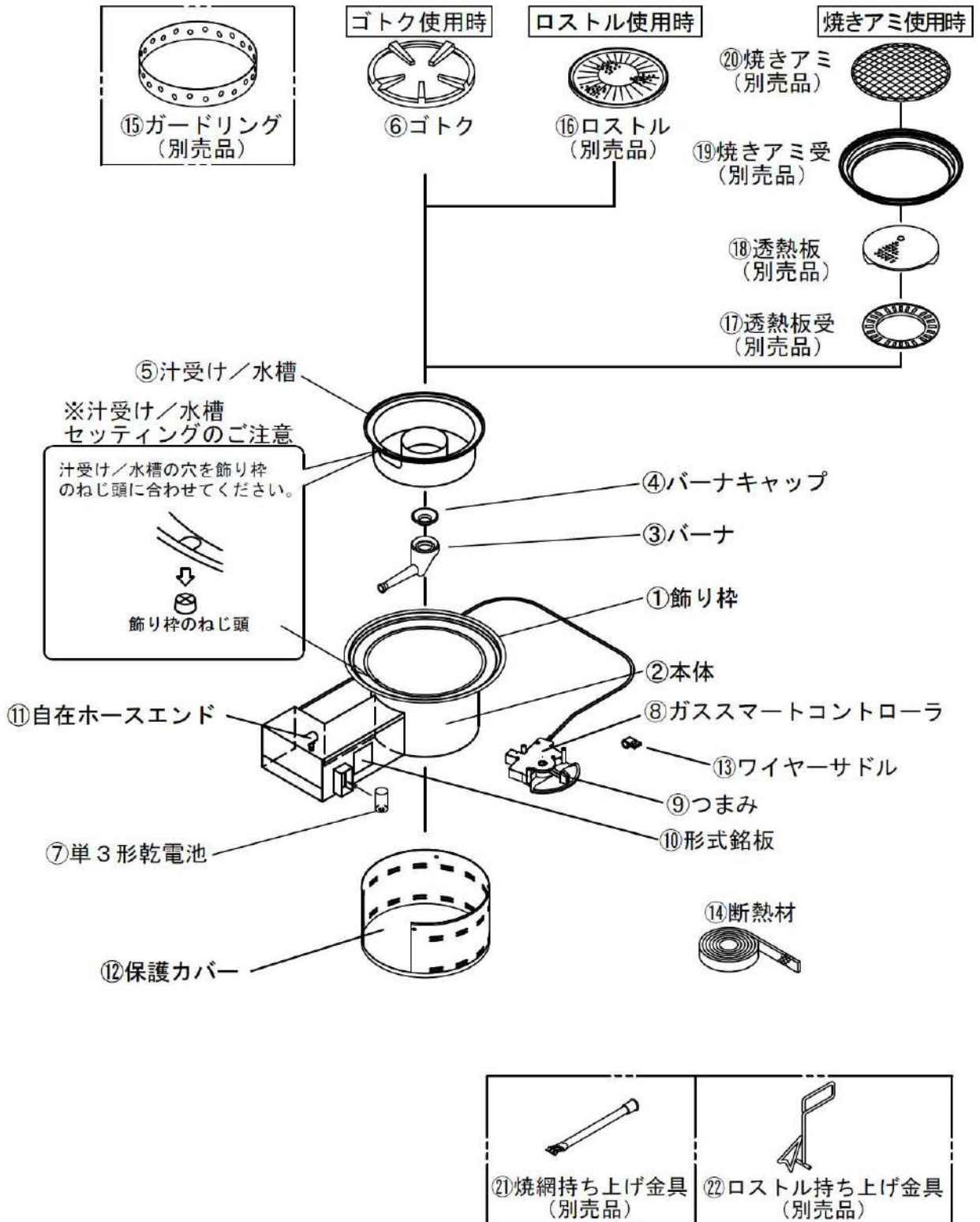


機器のご使用は

1. 点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。
2. 火力を弱火にしたときは、消し忘れに注意してください。
3. ガス栓を操作して火を消さないでください。
4. 使用後は消火と、つまみが「OFF」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。
火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発のおそれがあります。
やけどや思わぬ事故の原因になります。

お願い

■ 各部の名称と仕様



■ 各部の名称と仕様

■ 付属品

| No. | 部 品 名 称 | は た ら き |
|-----|-----------------|-------------------------|
| ① | 飾 り 枠 | 天板にはめ込み、汁受け／水槽を受ける部品 |
| ② | 本 体 | バーナを受けている部品 |
| ③ | バ ー ナ | ガスと空気を混合する部品 |
| ④ | バ ー ナ キ ャ ッ プ | バーナの上に装着して、安定した炎を出す部品 |
| ⑤ | 汁 受 け / 水 槽 | 鍋から吹きこぼれた煮汁を受ける部品 |
| ⑥ | ゴ ト ク | 鍋を受ける部品 |
| ⑦ | 単 3 形 乾 電 池 | 点火用の電源(1本) |
| ⑧ | ガススマートコントローラ | 火力調節をする操作ケーブル |
| ⑨ | つ ま み | 火力調節用のつまみ |
| ⑩ | 形 式 銘 板 | 製品番号、ガス種、消費量等を表示しているシール |
| ⑪ | 自 在 ホ ー ス エ ン ド | ガスの取入口 |
| ⑫ | 保 護 カ バ ー | 本体からの熱を防ぐ部品 |
| ⑬ | ワ イ ヤ ー サ ド ル | ワイヤーを天板に固定する部品 |
| ⑭ | 断 熱 材 | 天板取り付け穴の小口に施工する断熱部品 |

■ 別売品

| | | |
|---|---------------------|---|
| ⑮ | ガ ー ド リ ン グ | 鍋を使用するとき、お皿等がコンロ内に入らないようにする部品 (品番:CTRK-271-000820) |
| ⑯ | ロ ス ト ル | 調理用部品(品番:S-13K-000055-01) |
| ⑰ | 透 熱 板 受 | 汁受け／水槽の上に置いて、透熱板を受けるリング状の部品 |
| ⑱ | 透 熱 板 | 温度分布を良好にし、焼きムラを少なくする。また、バーナを保護する部品 |
| ⑲ | 焼 き ア ミ 受 | 汁受け／水槽の上に置いて、焼きアミを受けるリング状の部品 |
| ⑳ | 焼 き ア ミ | 調理用部品 |
| ㉑ | 焼 網 持 ち 上 げ 金 具 | 焼きアミ持ち上げ用金具(品番:S-103-000810) |
| ㉒ | ロ ス ト ル 持 ち 上 げ 金 具 | ロストル持ち上げ用金具(品番:S-103-000809) |

■ 消耗品 (保証期間内であっても有償となる部品)

【付属品】 バーナ・バーナキャップ・単3形乾電池・ゴトク

※バーナおよびバーナキャップは、バーナセット(品番:99-0250)で交換してください。

【別売品】 透熱板・透熱板受・焼きアミ・ロストル

■ 仕様表








| 記 載 事 項 | 記 載 内 容 | |
|----------------|--------------------|----------------------|
| 製 品 名 | ガス客席埋込コンロ | |
| 形 式 名 | CTK-23S | |
| 表示ガス 消費量 | 13A | 3.60kW (3,100kcal/h) |
| | 12A | 3.30kW (2,840kcal/h) |
| | LPG | 3.60kW (0.26kg/h) |
| 点 火 方 式 | 連続スパーク点火方式(単3形乾電池) | |
| 空 気 調 節 器 | 固定式 | |
| 外 形 寸 法 (mm) | W537.1×D386.7×H187 | |
| 質 量 (kg) | 7.7 | |
| ガ ス 接 続 口 | 9.5mmゴム管用自在ホースエンド | |
| 最 大 な べ 径 (cm) | 30 | |

■ 設置について

■ 設置前の準備

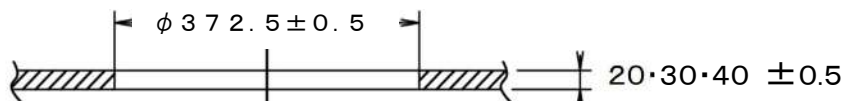
- ・ 機器にあったガス栓を準備してください。(仕様表 8 ページ参照)
- ・ 機器をダンボールから取り出して梱包物をすべて取り除き、付属品を確認してください。

● 付属品

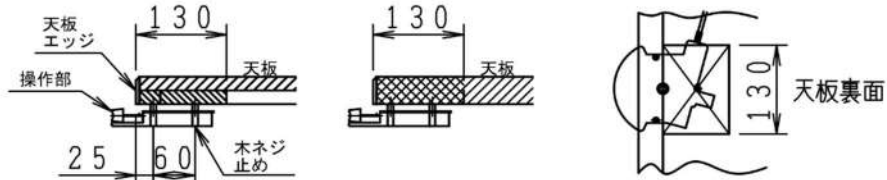
| | | | |
|---|--|---|---|
| ①取扱説明書 (1冊)  | ②+木ネジ 3.8×4.5 (3本)  | ③+トラスネジ 4×16 (7本)  | ④ワイヤーサドル (A) (3個)  |
| ⑤単3形乾電池 (1本)  | ⑥断熱材 (1個)  | ⑦ベース取付金具 (4個)  | |

■ 機器の組付方法

①天板 (厚み 20・30・40mm) に穴をあけてください。

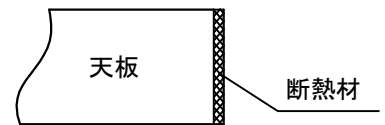


②天板のエッジ形状にもよりますが、操作部取り付けの木片(芯材)の最低必要寸法は130mmです。



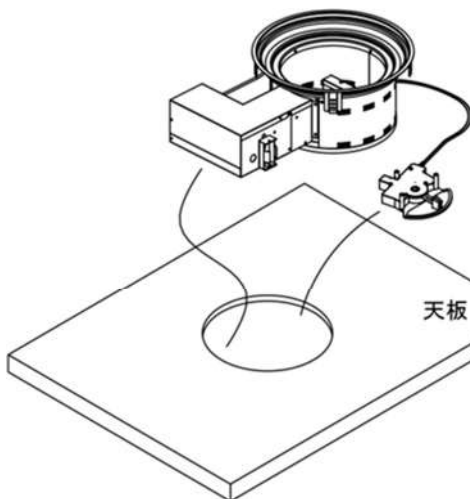
③ 付属の断熱材をテーブルの穴の断面にタッカで取り付けてください。

- ※タッカは付属しておりませんので準備をお願いします。
- ※タッカの針の止めピッチは5cm程度を目安としてください。
- ※断熱材を取り付けの際はゴム手袋を着用して肌が露出しない状態で作業を行ってください。肌が敏感な方はかゆみやチクチクした痛みが生じる場合があります。
- ※脚の上にテーブルを仮置きして作業すると容易に作業できます。



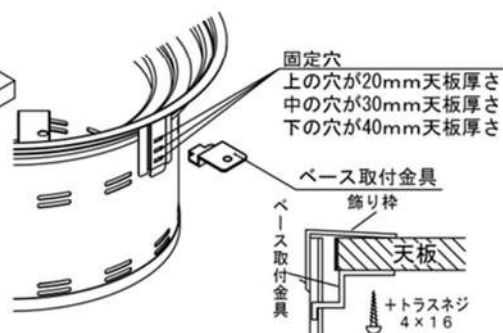
④ 機器をテーブルの穴に入れてください。

- ※機器本体から《ゴトク・汁受け/水槽・バーナキャップ・バーナ》を取り外してください。
- ・ 機器を持ち上げて《操作部》を③のテーブルの穴に入れてください。
- ・ 機器本体を斜めにして機器後方の《ホースエンド部(後方のボックス)》をテーブルの穴に入れてください。
- ・ 全体がテーブルと平行になるように機器本体を穴の中にゆっくりと落とし込んでください。飾り枠がテーブル表面に接したら手を離してください。



⑤ 機器をテーブルに固定してください。

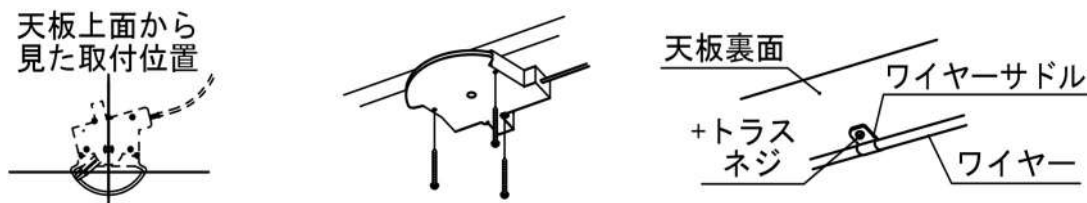
- ・ 機器本体がテーブルの中心になる様に巻尺でテーブルの端から機器までの距離を測定し位置調整してください。
- ・ 天板裏面より付属の《ベース取付金具》を機器本体の固定穴にセットし《+トラスネジ4×16》で固定してください。(4カ所あります)



■ 設置について

■ 機器の組付方法（続き）

- ⑥スマートコントローラ（操作部）を固定してください。
- ・スマートコントローラ（操作部）を位置決めし、付属の《+木ネジ3. 8×45》3本で固定します。
 - ・ワイヤーはワイヤーサドルではさんで、天板裏面に固定します。
- ※ワイヤーはできるだけ大きく曲げてください。（内側の半径10cm以上）
※ワイヤーは機器本体にふれないように固定してください。ワイヤーが機器本体にふれると操作つまみが動かない等の故障の原因になります。



- ⑦電池ケースに単3形乾電池を【+ -】正しい向きに取り付けてください。
- ・乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しくご使用ください。
 - ・付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。
- ⑧単3形乾電池を入れて操作確認してください。
- ・操作確認は、数回行ってください。
 - ・操作つまみを「ON」の位置で、点火音「チッチッチ」がすぐに切れたり、手を離してきれない場合は、ワイヤーおよび器具栓の軸に負荷がかかっています。ワイヤーの引き回しを見直し、器具栓側に取り付けているスマートコントローラの固定ネジをゆるめて締め直してください。
- ⑨脚を固定してください。
- ・脚がテーブルの中心になるように巻尺でテーブルの端から距離を測定し位置調整して、脚に付属の木ネジで固定してください。
- ⑩裏返して作業している場合は、天板・脚ごと機器全体をひっくり返してください。
- ⑪取り外した《ゴトク・汁受け／水槽・バーナキャップ・バーナ》を元通りセットしてください。（7ページ参照）
- ⑫以上で機器の取り付け作業は完了です。

■ 設置場所

- ・安定性がよく水平なところに設置してください。
 - ・棚の下など落下物のある所を避けてください。火災になることがあります。
 - ・樹脂製の照明器具の下でのご使用は避けてください。照明器具のかさ等が変形することがあります。
 - ・エアコンの風が直接機器に当たらないようにしてください
- 使用場所の換気口（給気口・排気口）は常に確保し、物などでふさがないでください。耐久性などの点から、湿気の少ない所に設置してください。

■ ご使用方法

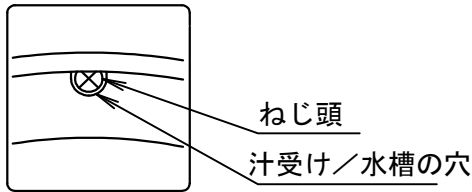
■ ご使用前の準備

- ・機器本体に貼り付けている銘板に表示しているガスの種類と、使用するガスが一致していることを確認してください。
- ・ガス栓と機器のガス接続口をφ9.5mmガス用ゴム管で接続してください。
- ・ガス用ゴム管はホースエンドの赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実に固定し、折れたり、ねじれたりしないようできるだけ短く、また機器の下を通したり、機器に触れたりしないでください。
- ・ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐は行わないでください。
- ・ひび割れたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管はガス漏れの原因になりますので必ず取り替えてください。
- ・ヒューズコック（ヒューズ付ガス栓）をご使用の場合は、ガス種・ガス量に適したヒューズコックをお選びください。
- ・機器にフタをしている場合はフタを取り外してください。
- ・装着部品がもれなく確実に装着されていることを確認してください。
- ・機器周辺に可燃物がないことを確認してください。

■ ご使用方法

■ ご使用前の準備（続き）

- ・ 汁受け／水槽の穴が飾り枠のねじ頭と合っていることの確認。



※穴とねじ頭が合っていないと、着火操作を行っても着火しない場合があります。着火操作を続けると、故障の原因となります。

- ・ 操作つまみが「OFF」の位置であることの確認。
- ・ ガス栓を開く。

■ 操作の方法

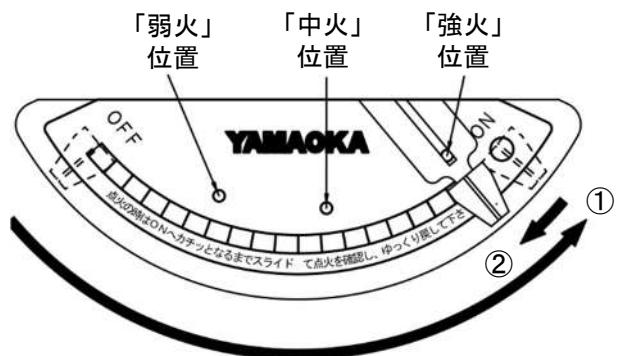


注意

ガスの点火・消火は必ず、炎を目で見確認してください。

【点火の方法】

- ① 点火は、つまみを「OFF」から「ON」の方向へ「カチッ」となるまで回してください。ゆっくりいっぱいまで回すと「チッチッチ」という音とともに点火を開始します。バーナに着火したことを目で見確認してから手を離して、もう一度バーナに着火していることを、再確認してください。
- ② 手を離すと「強火」の位置で止まり、強火燃焼します。



【ご注意】

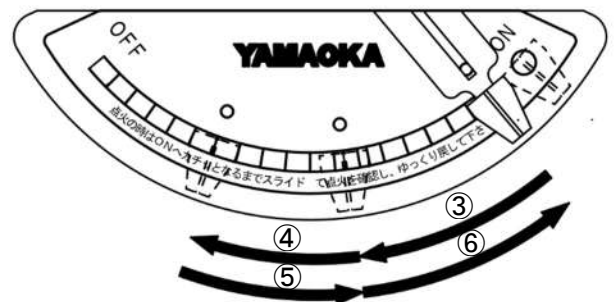
- はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合、2～3回点火操作を繰り返し行い、空気を抜き、「OFF」の位置に戻した後、しばらくしてから、再度点火操作を行ってください。（長時間使用していなかったり、朝一番などはじめて点火するときも点火しにくい事があります。）
- 点火の際や使用中に《ゴォー》音を立てて燃える現象が起きたときは一旦つまみを「OFF」にして、しばらくしてから再点火してください。
※着火しない場合は、汁受け／水槽の位置がずれていないか確認してください。（7ページ、11ページ参照）

【火力調節の方法】

火力調節は3段階に調節できます。

一旦着火しますと、

- ③ 「強火」の位置から「中火」の位置に
 - ④ 「中火」の位置から「弱火」の位置に
 - ⑤ 「弱火」の位置から「中火」の位置に
 - ⑥ 「中火」の位置から「強火」の位置に
- 自由に調節してください。



【ご注意】

- つまみはゆっくり動かしてください。速く動かすと火が消える場合があります。
- ○印の位置の節度以外でのご使用は行わないでください。特に「弱火」の節度以下にすると消火しますのでご注意ください。
- 「強火」から「中火」「弱火」と、「弱火」から「中火」、「中火」から「弱火」にした時などの火力はワイヤーおよびコックの遊び代があるため変わることがあります。一旦「強火」に戻してから「中火」「弱火」の火力変化は少ないです。

【消火の方法】

- ⑦ 消火は、つまみを「OFF」の位置に 動かし、「カチッ」と音がするまで戻し、消火したことをバーナを目で見確認してください。
- バーナは、消火時に「ポン」という音がする場合がありますが、これは、火が消えた時の音で、異常ではありません。



■ ご使用方法

■ 停電時のご使用方法

・ご使用中に万一停電した場合、換気扇が動かなくなり、換気が出来なくなる為、窓を開けるなどして換気に注意してください。
窓が無く換気できない場合は、操作つまみを「OFF」の位置にし、ガス栓を閉じておいてください。停電復旧後は、通常の点火操作を行ってください。

■ 使用する鍋について

直径30cm以上の鍋は使用しないでください。
鍋からの輻射熱などで機器およびテーブルが過熱され、やけどや故障の原因になります。

■ 別売品の焼きアミ、ロストル取り扱いについて



焼きアミ、ロストルを使用時は汁受け／水槽に約1000mLの水を必ず入れる。

(目安：汁受け／水槽の長丸穴下面より15mm下が1000mLです。)

※汁受け／水槽に水を入れるときはバーナにかからないように入れてください。

万一、バーナの炎口に水がかかった場合は、乾いた布などでよくふき取り点火してバーナが正常に着火していることを確認してください。

水を入れない状態で使用すると、溜まった油に引火し、火災原因になります。

汁受け／水槽が空だきにならないよう、使用中もときどき確認して水を入れる。



■ 汁受け／水槽、透熱板受、透熱板は、正しく確実に取り付け(7ページ参照)

バーナに着火しない、点火用パイロットバーナの炎が本体などを加熱し火災や機器焼損の原因になります。

汁受け／水槽の穴を飾り枠のねじ頭に合わせて取り付けください。(7、11ページ参照)

■ 焼きアミ、ロストルの取り扱いには別売品の専用持ち上げ金具を使う

ぬれふきなどで持つと、やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。

■ 焼きアミに焦げ付いた付着物が激しく燃え上がったときは新しい物と交換してください。



● 透熱板はご使用前に機器で空焼きしてください。

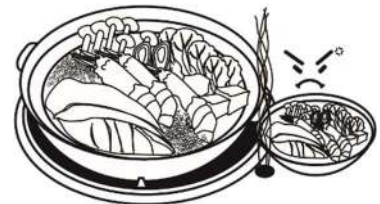
おこたると、パチパチはねる場合があります。

● 約5分間加熱して、無音になったことを確認した後、使用してください。

● 常にはねるような場合は寿命ですので新品と交換してください。

■ ご使用上の注意

- ・ 機器ご使用時の点火・ご使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを、炎の状態を目で見て確認してください。
- ・ バーナに点火する時は、バーナに顔や手を近づけないでください。やけどをするなどのおそれがあります。
- ・ 点火時や使用中は、おしぼりの袋や割り箸などをバーナの近くに置かないでください。着火して火災のおそれがあります。
- ・ 機器の使用中に皿やお越し金(こて)、薬味入れなどが焼き面に入ると高温になるばかりでなく、熱が伝わり、テーブル面を焦がしたり、ふくらませたりするおそれがあります。
- ・ 機器の使用中は調理面や機器表面が非常に熱くなっていますので、手が触れたりするとやけどの危険があります。
- ・ 営業終了時にガスホースを取り外す場合には、先端のカチットプラグを床に直接触れないようにしてください。床などの小さいゴミやホコリが付き、ガスのノズルが詰まる原因になります。
- ・ 機器の使用中は機器内部の下方からガスの燃焼に必要な空気を取り入れていますので、機器内部にアルミホイルなどを取り付けると空気穴をふさいで空気不足になり、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがありますので、絶対にアルミホイルなどは取り付けしないでください。



■ 日常点検・お手入れ

日常の点検およびお手入れを行われる場合、次の事項を必ずお守り頂いた上、以下の各項に記載されたとおりに行ってください。

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。



警告

**修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない
火災・ガス漏れのおそれがあります。**

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 特に煮こぼれた時は、必ずバーナの清掃を行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用して行ってください。各部品の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。

■ 点 検



警告

- 点検前に必ずガス栓が閉じられていて、機器が冷えているかを確認してください。やけどのおそれがあります。
- ガス管（ゴム管、ゴム管止めなど）の劣化や接続は必ず点検してください。ガス漏れの原因になります。
- 機器の周辺に可燃物や危険物がないことを確認してください。


- ・ ゴム管接続の場合、ゴム管が、機器およびガス栓の両方共、赤い線まで十分に差し込まれていてゴム管止めが取り付けられているかを点検してください。
- ・ ゴム管が古くなってひび割れしたり差し込み口がゆるんで、ガス漏れしていないかときどき石けん水などをかけて点検してください。
- ・ 機器の周辺に、紙・プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置いていないか点検してください。
- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめてください。
- ・ バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめてください。
- ・ 炎を直視して点火し、火力調節を各節度に切り替え、それぞれ正常燃焼することを確認してください。各節度で火が消える場合は、バーナおよびバーナキャップを新しいものと交換してください。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがいないか確認してください。

■ お手入れの道具と洗剤

| 使ってよいもの | |
|--|--|
| 本体表面など | : ●中性洗剤 ●やわらかい布 ●スポンジたわし●ナイロンたわし ●シュロブラシ等やわらかいブラシ |
| こびりついた汚れ用 | : ●スクレーパー |
| バーナ清掃用 | : ●真ちゅうブラシ●針金 |
| 使ってはいけないもの | |
| ●酸性・アルカリ性洗剤 ガス機器に使用している部品を腐食させ、故障やガス漏れの原因になります。 | ●スプレーボトル式洗剤 機器内部に洗剤が入りますと部品を腐食させ故障の原因となります。直接かけずに布なに含ませてからお手入れしてください。 |
| ●クレンザー（みがき粉）、金属たわし 部品や塗装の表面にキズがつき、サビなどの原因となります。 | ●ベンジン・シンナー・アルコール 部品や塗装の表面が変質し、変色・塗装はがれ、サビなどの原因となります。 |

■ 日常点検・お手入れ

■ 日常のお手入れ

| | |
|--|---|
|  警告 | <ul style="list-style-type: none">● 酸性・アルカリ性の洗剤を、本体にかけないでください。ガス通路部品が腐食し、ガス漏れをおこし、危険です。● 本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いはしないでください。着火不良や不完全燃焼の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none">・市販の業務用洗剤には、ガス機器に使用している部品を腐食させる成分が含まれている場合があります。洗剤の注意書などで成分を確認してください。・本体に、強力な洗剤の原液などを直接吹きつけたり、本体を丸洗いされますと、器具栓やガス導管などのガス通路の機能部品が腐食・破損しガス漏れなどにいたるおそれがあります。・機能部品を清掃・お手入れされる場合は、布切れに中性洗剤を含ませてふき取り、仕上げにぬれふきんでふき取ってください。 | |

■ 定期的なお手入れ

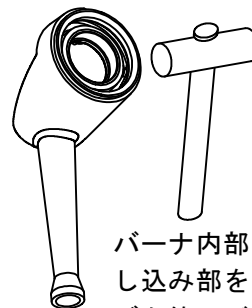
- ・バーナおよびその周辺の汚れは、不完全燃焼の原因になるので汚れたら掃除してください。
- ・バーナキャップの炎が不揃いになった時や汚れがひどい時は、バーナを真鍮ブラシで掃除し、炎口は針金などで穴を掃除してください。バーナ内部のゴミは差し込み部を下に向け、木づち等でバーナを軽くたたいてゴミを落としてください。清掃後、乾いた布などでふいてください。



上面の穴は針金などで掃除してください。



裏面の炎口は真鍮ブラシなどで掃除してください



バーナ内部のゴミは、差し込み部を下に向けて木づち等でバーナを軽く叩いてください

- ・汁受け／水槽は、煮こぼれなど汚れが多くなると不衛生になり、火災発生の原因にもなるので、お客様ごとに清掃してください。
- ・機器内部は、油や炭化物が付着すると取れにくくなりますので、手袋を着用して一日に一度布切れ等で清掃してください。
- ・本体は、炭化物が付着すると取れにくくなりますので、一日に一度、手袋を着用して中性洗剤を含ませたぬれふきんでふき取り、清掃してください。後は乾いた布で十分に水気をとってください。
- ・お手入れと同時に、必ず前項の点検を行ってください。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

| 現象 原因 | ガスの臭いがする | 点火しない ガスも出ない | 点火しない・点火しにくい | 着火・火移りがしにくい | 炎が黄火で燃える | 炎が飛ぶように燃える | 異常な音をたてて燃える | 炎が異常に小さい | 炎が異常に大きい | 炎が安定しない | 使用中に炎が消える | 使用中に炎が吹き上がった | 処置方法 |
|------------------|----------|-----------------|--------------|-------------|----------|------------|-------------|----------|----------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | | | | | | | | | | | | | |
| ガス配管接続が不完全 | ○ | | | | | | | | | | | | ガス配管の接続を確実にする |
| ガス栓の開きが不十分 | | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | | ガス栓を全開にする |
| LPガスがなくなりかけている | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | | | 新しいボンベと交換する |
| 配管中に空気が残っている | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 点火操作を繰り返す |
| 銘板表示のガスと使用ガスの不一致 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換 |
| 点火操作が適切でない | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | 正しい点火操作を行う |
| 操作つまみの開き不足 | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | 操作つまみを一度「OFF」に戻してから再び点火操作を行う |
| バーナの炎口が詰まっている | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | バーナの炎口を清掃する |
| バーナの取り付けが悪い | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | バーナを正しく取り付ける |
| バーナが劣化している | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 販売店に連絡し、修理してください |
| 電池が切れている | | | ○ | | | | | | | | | | 新しい電池と交換する |

※別売品焼きアミ、ロストル使用時

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--------------------------------|
| 汁受け／水槽に水が無く空だきになっている | | | | | | | | | | | | ○ | 使用前には必ず水を入れる。使用中もときどき確認して水を入れる |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--------------------------------|

以上の処置を施したあとも改善されないときは、ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください

■ 長期間使用しない場合

各部を清掃し、乾電池を機器本体より取り外してガス栓を閉じて保管してください。

■ 廃棄するときは

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・サービスを依頼する前に15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・訪問希望日

■ 転居または機器を移設される場合

- ・ガスの種類が異なる地域へ転居または移設される場合には、部品交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、必ずお買い上げの販売店または最寄りのガス事業者にご相談ください。
- ・この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

■ 保証について

- ・「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障

※ 修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・消耗品は、保証期間中でも有償となります。（8ページ参照）

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・このガス客席埋込コンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ガス客席埋込コンロをお使いになった上で、なにかご不明な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡してください。

■ お客様の個人情報の取り扱いについて

- ・当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ・当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

YAMAOKA
山岡金属工業株式会社
ISO14001/ISO9001認証取得

本 社／〒570-8585 大阪府守口市東郷通 2 丁目 7 番 30 号

TEL. (06) 6996-2351 FAX. (06) 6997-3045

東京支店／〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-6-4 新福神ビル 9 階

TEL. (03) 3255-6755 FAX. (03) 3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp

夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。

2024.02(00)